

1. 件名：原子力科学研究所（JRR-3）における基準地震動の変更が不要であることを説明する文書に関する面談について

2. 日時：令和3年12月13日（月）13時30分～14時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

：岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

原子力規制庁 技術基盤グループ 地震・津波研究部門

：呉政策研究官

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構：

建設部 次長 他5名※

安全・核セキュリティ総括部 安全・核セキュリティ推進室 2名※

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・原子力科学研究所（JRR-3） 基準地震動に対する標準応答スペクトルの影響検討（コメント回答資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	建設ですけど音声大丈夫です。はい、わかりました。それではですね 9 月 3 日に行った審査会合のですね、コメント回答ということで、資料作っていただいておりますのでヒアリングを開始したいと思います。まず資料の説明からお願いいたします。
0:00:18	JA建設部の小宮と申します。それでは資料 1 の現地中核研究所JRRⅢ基準地震動に対する標準応答スペクトルの影響検討について御説明させていただきます。
0:00:30	次のページ、ページ目をご覧ください。目次となっております、今回御説明する内容としましては、1234、補足資料の 1 について御説明させていただきます。
0:00:42	次のページ 2 ページ目をご覧ください。審査会合におけるコメントですが、6 月 3 日の審査会合においてつぼいですが、二つコメントをいただきまして、それぞれについてちょっと御説明させていただきますと、まず 1 番目についてですが、
0:00:59	地震基盤相当面をVs2000m/sとして実施した地震動増加強化は規則の解釈のVs2200m/s以上とは異なっており、見直すことを
0:01:13	その際参考資料で支援した再設定した地盤構造モデルにおける評価とするか、結局地盤構造モデルによる評価とするか整理検討が必要な歳出設定した地盤構造モデルにおける評価とする場合その位置付け
0:01:30	明確にし、再設定したモデルの妥当性根拠や記載の充実化とかの基準地震動、統計的グリーン関数法による地震動評価への影響についても考慮する必要があります
0:01:43	二つ目についてですが模擬地震はの作成や地盤の伝播特性についてばらつき野菜があることが冷え地形できないため、淡水移送のほかに事実を考慮し、普通の模擬地震ほう作成して、応答スペクトルへの影響を確認すること。
0:02:00	例えば敷地内の観測記録の活用等を考慮の上、検討することとなっております。
0:02:07	次のページをご覧ください。審査会合の 9 月 3 日の審査会合における再掲ですので、なければ、説明については割愛させていただきます。次のページ 4 ページ目のページに航空機についても再掲と後ですねページについては、
0:02:26	一部修正ということで、ちょっと色をつけさせていただいたということですので、ここについての御説明については割愛させていただきます。
0:02:35	それでは 5 ページ目、地盤構造モデル設定について、この違った。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:40	地盤構造モデルの設定についてですが震源を特定せず策定する地震動として考慮する標準応答スペクトルは地震基盤相当面Vs2200m/s以上の地層において規定されておまして、輝緑岩地盤構造モデルには、
0:02:56	標準応答スペクトル規定するVs2200m/sの地層がないことから、本検討では既許可の地盤構造モデルでVs2000m/s以上となる値ELマイナス 0.9974m 1、括弧VS2500m/sの数であります、
0:03:14	これを地震基盤相当人として設定いたします。次に、敷地における解放基盤表面はVsが約 10m/sの児童GL-a. 36kmの位置に設定しており、解放基盤表面における標準応答スペクトルを考慮した地震動を評価する際、
0:03:32	地震基盤相当面から解放基盤表面までの通気特性を考慮させていただきます。次に地震動の増幅特性の考慮としては、標準応答スペクトルで規定されているVs2200m/sと敷地の地震基盤相当面としてはVS2500m/sとの
0:03:51	地盤特性の採用地震動評価に反映させるため、以下の検討を行い、オートスペクトルの強さの比SI比の大きいほう選定させていただきます検討内容としては、以下の二つの検討について考えさせていただいております、まず検討①率がこれ透過係数を用いた検討ということで、
0:04:11	来とかの留萌の検討でも実施させていただき、いただいている検討内容となっております、内容としてはVS2500m/sと技術 2200m/sの地盤特性はほとんど影響について透過係数インピーダンスによる差異を考慮して地盤応答解析を行い解放基盤表面の地震の増加。
0:04:31	まず、次に検討②としては地震基盤相当面以深をVs2200m/sとしては円筒となっております、標準応答スペクトルはVs2002200m0 設定された応答スペクトルであるということから既許可地盤構造モデルの
0:04:47	GL-0.997 キロメートルを一応Vs2200m/sとして実際応答解析を行い、介護基盤表面の地震動評価を実施させていただきます。
0:05:00	次のページ 7 ページ目をご覧ください。審査会合 9 月 3 日の内容から一部修正した内容となっております修正した内容としては模擬地震本部ですね、変更させていただいております水平方向鉛直方向の加速度発見。
0:05:17	模擬地震はですね、加速度派遣について記載させていただいております。なお今回、
0:05:25	目標を変えたということで、以前の 9 月 3 日、
0:05:30	目標ポートスペクトル日土今回作成いただきさせていただいた応答スペクトル比についてですけれども補足資料 1 で御説明させていただきたいと思えます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:43	次のページ 8 ページ目をご覧ください。同様に評価変えたということなので、応答スペクトル比についても変更させていただいております、目標とする応答スペクトル比志賀に対するもの違反の応答スペックの日応答スペクトル比がですね、全周期 0.85 以上、
0:06:01	応答スペクトルの清算日SI値は 1.0 以上であるということについて確認させていただいております、最近についてはですね、以前の 9 月 3 日内容から与えが変更となりまして水平方向が. 04。
0:06:16	鉛直方向は 1.03 の結果となっております。
0:06:21	次のページ、9 ページ目をご覧ください。透過係数を用いた検討ということで、当評価内容を記載させていただいております。まずフェーズが地盤構造モデルについては既許可の地盤高構造モデルを記載させていただいております、
0:06:36	地盤で地震基盤相当面を江藤GL-a. 997 キロメートルの上限として設定させていただいております。それを踏まえましてはどうインピーダンス比あることを、地震動の透過係数 というものを
0:06:52	あと幾らですね、健康保険のえさ速度 2500m/sの層の男性がSOPと密度をそうですね標準応答スペクトルの奇形されている層の弾性波速度Vs2200m/sをVB4290m/s、
0:07:10	とさせていただいております、もうにはですね、
0:07:15	今後、1970 年の計算式から算出した 2.48 というものを用いてですね、稼働インピーダンス比の $\alpha$ ストROPそれに基づいてですね、上がん埋設等 $\gamma$ Pについて計算させていただいております、
0:07:30	従って水平方向は 600 名掛ける 0.918 ということで 551 あるとですね、延長方向はAと同様に 370。
0:07:41	あるのですねえと地震動をですね、地震基盤相当面に埋めるするという検討内容となっております。
0:07:48	次にですね、地震基盤相当免震をベースに 1200m/sとした検討として、10 ページ目に検討内容ですが、記載させていただいております、それから地盤構造まで戻るの第 6 層の系統策速度と、
0:08:04	とP波速度について、教条とすると考慮した弾性波速度に置き換えてるという検討内容となっております。
0:08:15	次のページ、11 ページ目をご覧ください。
0:08:18	検討①と検討②の解放基盤表面の応答スペクトルの引き応答スペクトルを比較した結果を御指摘いただき載せさせていただいております、透析とのスペクトルのSI値をですね、水平方向及び鉛直方向鉛直方向ともに、検討②が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:35	大きく評価されたという結果となっております、家族につ次いでも制度検討②のほうが大きくなったという評価結果となりました。
0:08:45	スペクトルの説明をさせていただきますと、茶色の線がですね、検討①、
0:08:52	紫色音声が発音②となっております、スペクトル形状についても、層厚似ておりますが、検討②のほうがどう大きく評価されたような結果となっております。これを踏まえまして標準応答スペクトルオオイ先振動は検討②の結果に基づきまして、
0:09:11	基準地震動SsBとの包絡関係を確認させていただきます。
0:09:16	次のページ解放基盤表面における地震動の比較、基準地震動SDとの比較をですね、ページ 12 ページ目に記載させていただいております、基準地震動のSs設備については黒い色の線標準応答スペクトルを考慮し、振動については赤い欄先例、
0:09:34	と応答スペクトルの図を配っております、標準応答スペクトルを考慮した地震動は全周期体で基準地震動施設Dに包絡されるということについて確認しております。
0:09:47	はい。
0:09:49	次のページ、13 ページ目をご覧ください。実移送による検討といたしまして乱数位相当時水槽の比較検討の概要について御説明させていただきますと、検討目的としては乱数位相の地域で策定した場合を基盤表面における標準応答スペクトル高齢者地震動
0:10:06	以下乱数位相により検討といいますが、これについて妥当性を確認するために、敷地の観測記録を用いた重畳応答スペクトルを考慮した地震動作成し、学校行います検討方法としましては観測記録の位相特性には敷地の時地盤の振動特性に起因する特徴が反映されております、
0:10:26	基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイドで行いまして、地震基盤相当における地震動の位相特性を用いて解放基盤表面における標準法制定を考慮した地震動評価いたします以外の検討については実に損益検討とさせていただきます。
0:10:45	この観測記録の位相特性については、浅部プラス深部地盤構造モデルを用いてですね、敷地の解放基盤表面位置の観測記録を地震基盤相当面に引き戻し解析を行いまして、本結果から地震基盤相当面置ける敷地の地震観測局、
0:11:04	位相ですね用いさせていただきます。
0:11:09	次のページ、14 ページですけれどもについての検討として、地震観測件数について整理させていただいております、標準応答スペクトルはですね、震源近傍の達成の地震観測記録の基づいて作成されているということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:24	2000年以降に起きた震央距離3、130km以内で間口モーメントマグニチュード5から6.6の内陸地殻内地震を対象とさせていただいておりますして、以上踏まえまして実技挿入検討に用いる検討対象地震としては、
0:11:42	JR薄いから震央距離約34mの範囲、或いは環境面とマグニチュード
0:11:47	トータルペイン6の内陸地殻内地震を抽出いたしまして、その結果をですね、以下に示しております。
0:11:56	はい。
0:11:57	次のページ1015ページ目をご覧ください。地震観測局についてですが実施中実位相で用いる地震観測記録はJRⅢ観測された内陸地殻内地震のですね、観測記録の中で、マグニチュードが一番大きいのは県北部の地震観測記録。
0:12:15	2016年12月28日Mj6.3を用いるということで、
0:12:22	露頭させていただきまして、φを基盤表面位置における江戸茨城県北部の地震観測記録の加速度計をですね、記載させていただいております。
0:12:33	次のページへ16ページ目をご覧ください。引き戻し解析で用いる地盤構造モデルですが、先ほど解放基盤表面位置の速度発表です用いて江戸地震基盤相当面におけるどっか
0:12:50	加速度半径を算出に用いる地盤構造モデルを記載させていただいております、これについては、※1に書いておりますが、検出低減検証／研究所の原子炉設置変更許可申請書に書かれている地盤構造モデル用いて、
0:13:06	記載させていただいております。
0:13:10	次のページ、87ページ目をご覧ください。引き戻し快適ねらいにペイられた地震基盤相当面における敷地の地震観測局について示させていただいております。これを用いてですね、もう表作成させていただきます。
0:13:27	次のページ、18ページ目をご覧ください。もう非地震反応作成結果についてですが、と地震観測記録の位相特性を用いて標準応答スペックを適用するように作成させていただきました。撮影した模擬はわ乱數位相による検討結果の向き自身はどう比べまして、
0:13:46	フィッティングのばらつきが多少大きい結果となっておりますが条件を満たしているということについて確認させていただいております。頭脳説明いたしますと左上の図ですが、これはひょ黒い色の線が標準応答スペックがターゲットのスペック
0:14:04	通りでありまして、赤色が模擬地震はあとなっており、ということについては、右上の表に書かせていただいておりますして作成した模擬地震はですね、これが一番下のところに加速度はKを書かせていただいておりますして水平方向が515ガル遠地公募が覚め

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:24	25 があるのどうか系を作成させていただいております。
0:14:30	2 ページ 19 ページ目をご覧ください。淡水移送による検討と同様に一番奥大場式を行いまして解放基盤表面における地震動評価を実施しまして、検討結果として、家族の介護基盤表面における標準応答スペクトルを考慮した地震動
0:14:45	実販検討結果の速度は系を記載させていただいております。
0:14:51	次のページ 20 ページ目をご覧ください。淡水外実損による検討結果の比較になるのですが、TRACE移送による検討結果同日に損益検討結果については五感表面における地震動を比較しますと、そのスペクトル形状は欄水移送による検討結果と同程度で、
0:15:09	ありまして、双方の結果は整合しているということをはらん水槽による検討結果の妥当性を確認させていただいております。
0:15:21	以上がきつい層の検討となっております、補足資料がですね、22 ページ目以降に記載させていただいております。23 ページ目にですね標準応答スペクトルに対する模擬事犯の応答スペクトル比
0:15:36	まとめさせていただいております、淡水移送による検討における模擬範囲については施設の耐震評価に影響する短周期側の応答スペクトル比の適用度向上を目的として模擬地震は見直させていただきました。
0:15:51	その結果をですね、上が下にドーズを書かせていただいておりますが、その標準応答スペクトルに対する応答スペクトル比をですね、上側が 9 月 3 日の審査会合で記載させていただいた応答スペクトル医であります、
0:16:06	今回整理させていただいたプロスペクトに費用ですね、下に下の図に記載させていただいております、目標の見直しを行わせていただきました。
0:16:16	資料、以上がですね、資料の御説明となります。
0:16:20	以上です。
0:16:23	はい御説明ありがとうございます。生産側から何か確認事項があればお願いします。
0:16:31	規制庁ナガイです。まず大きな研究というか、資料の構成の件でお願いがあります今後の会合の方にとってはもう
0:16:42	今回の資料だとないので、基準値の比較程度でわかりづらいので、基準地震動の一覧表、は系統スペクトル上てください。
0:16:53	あと、地下構造の設定根拠
0:16:56	この資料許可のまとめ資料がですね、抜粋していただいて、これも参考でつけていただくようにお願いします。
0:17:03	まずこの点よろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:11	JA建設部の中西です。代表しました。
0:17:16	はい、よろしくお願いします。サトウ等でも同様に設置変更許可を出す資料お 思いますけども、こちらのように対応いたします。
0:17:29	うん。
0:17:36	JA建設のナカニシですが、今のちよつとご発言あのちよつと音声途切れて聞 こえづらかったのもう一度お願いできますでしょうか。
0:17:45	はい、改めて申し上げます。
0:17:48	今後終わりのほうで審議を進めていくことになると思いますが、そちらについ ても同様にお願いいたしますということです。
0:17:57	JA建設部ナカニシ了解いたしました。
0:18:01	はい。詳細についてはですね、オオイの方がこの後の被ばくよろしくお願 いします。
0:18:12	はい。
0:18:16	はい。
0:18:33	よろしいですか。
0:18:36	聞こえてないですけど当時よろしくお願いいいたします。
0:18:49	どのように、
0:18:51	よく任期は2行で直しをするという趣旨でしょうか。
0:18:58	はい。
0:19:06	わかりました。はい、じゃそれでない。
0:19:11	家献血ナカニシ了解いたしました。
0:19:16	はい。規制庁の大井です。同族の中身について少し確認させていただきます。
0:19:24	今回ですね、9月3日の審査会合から大きく変わった点としましては、まず、 地震基盤相当面ですね、そこをDN-0.997キロメートル位置に設定したとい うことですよ。
0:19:40	それで検討①と②というふうにならぬ二つの検討をしていただいて、ちよつと中身につ いてはちよつと後でまた
0:19:48	やるとして、
0:19:51	この11ページですね、11ページで、検討①と②のはKスペクトルのはけを比 べたところ、検討②の結果が大きく評価された結果、
0:20:03	これを使って基準地震動の設定と包絡関係を12ページで捨てるにあともう1 点大きく一つ変更された点としてその補足にもありましたが、
0:20:14	作成した模擬地震幅が
0:20:17	トミナガをされたということで短周期側の適合度を上げるために、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:23	工場目的として上げてるといことであとは後段にあります実移送等の検討をしてきたとこのこの辺が
0:20:33	今回、前回から大きく変わったところということで、まずはちょっとその確認でよろしいでしょうか。
0:20:41	利益についてもナカニシれてコメントの通り、その下の観点を修正しております。
0:20:50	ありがとうございます。それですね検討①っていうところへと6ページですけど、等価件数を用いた検討ということで、
0:21:04	VS2500 棟 2200 の地盤物性の異なる影響を考慮して地盤応答解析を用いたということですが行ったということですが、
0:21:18	これは私一つではこういう地盤物性透過係数で考慮せずにそのまま地震基盤相当面に作成された模擬地震はオオイれて番目までは、
0:21:36	ことを、ほとんど
0:21:38	想定してたんですけど、まずそれを沼津市のかった理由っていうのはちょっともう少し学的な理由も含めて少しいただけますでしょうか。
0:21:50	1、
0:21:55	はい。
0:21:58	これ、
0:21:59	はい。
0:22:00	利益建設部の中西でございます。
0:22:06	また検討位置につきましてまたVsがないよう考慮するのにと結構使っているところにつきましては、先ほども述べます白の説明に来述べました通り事業の規模阿部ずっと留萌の検討のときに、
0:22:23	留萌の英訳Vs940 メーター/sとオオウチのサイトの前任アップというのを補正をかけるときに、このインピーダンスというのを検討してございます。
0:22:34	2000、この 200 というところが脳症地元スペクトルを
0:22:41	決定され、NPDの考えとして、ベイズ 2200 名パワーテックの一井の音スペクトルで全国のいろいろな観測記録を整備室のまとめられているという趣旨が一つと。
0:22:57	あとマスクの中でもありましたがこの深部の地盤観測記録を整理していく中でVsが2件、はい。2200 ウリュウ 2200 から関連地震基盤面までの地震動の増特定の差異というのが、
0:23:13	小さいところがあるの土地基づく作成のときにも聞かれまして、今の受信機盤ほどコメント地震基盤面の° っていうのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:26	小さいというところになってます。これについては、地盤のVs楽に着目すると、Vsが小さくなれば一定の地震動のトップがあるアップですが、実際の観測記録はそれほど変わらないいっぱいやっていくかと思います。
0:23:43	これに関しては新規の地盤に聞いている減衰です。
0:23:47	が実際よりも保守的に決定されている等の仕組みも考えられますので、基本的にはVsの違いを補正するという考え方で今回まとめるのが、
0:24:02	まとめて平均濃度の設定しているというのが経緯。
0:24:09	はい。
0:24:09	はい。
0:24:18	はい。
0:24:20	それで、
0:24:26	すみません、規制庁のナガイですけれども、結局表情とすべきとの定義に戻っていただきたいんですけど、規則解釈上は、これ 2200m/sec以上とってですね。
0:24:38	つまり 2500 でも 3000 でも表示法とスピードだっているのが、そもそも規則解釈なんですけれども、そこに対して、御社がどのように考えているのかということ打ちたいんですよ。
0:24:51	検討会ではね、実際のところは 2500 とか 3000 とか、結構そのまま使ってるわけですよ。あくまで補正期間は 2200 名と/sec未満の
0:25:02	記録補正したのであって、
0:25:04	解釈上は 2200m/secではなくて、2200m/sec以上という定義なので、これに対して御社はどのように考えてこの回検討①というのをやっているのかということ聞いてるんです。
0:25:17	そこに対しての考え方を説明いただけませんか簡潔に。
0:25:57	家建設部のナカニシが既許可のモデルで 2 番コートモデルできておまして、ベイズ 2200 メーターパワーテックを超える想定のが、原価県の場合 2500 になりますので、その 1 という。
0:26:15	またベースにしまして、ここを地震基盤相当未決定すると。
0:26:20	今、その中でVS2200 メーター/s2500Vsの違いを考慮して入力を行って解放基盤を基準地震動を設定していると。
0:26:33	次に、
0:26:34	そういうことに経費来ております。
0:26:41	すみません、ちょっと検討委等検討に
0:26:47	手書きかすみません検討①と②で地震基盤相当面ってというのは、これは同じものに対して合ってるんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:55	それとも微妙に定義が違う上で、検討①と②をやっております。
0:27:00	このお答えによって我々のこれの見方が大きく変わるんですけども。
0:27:05	どのよう考えですか。
0:27:29	JAEA建設部のナカニシですが、検討①軽い検討②ともに、
0:27:35	結局地盤構造モデルで言いますと、両面のGLでマイナス 0.997
0:27:44	ここより下階ところは地震基盤相当面という定義だと解釈して、それに対して、検討 1 と 2 ページまで、それぞれVsの違いをどう考えてるかっていうのも、2 パターンやっていく。
0:28:00	ということで検討位置もにも基本的にはこの地震基盤相当面っていう
0:28:06	この考え方というのは
0:28:09	共通で考えていると
0:28:13	考えております。
0:28:28	そうであると、地震基盤相当面が同じであるとする、検討①と②で分けてやる理由がわからないんですけども。
0:28:38	表情とスペックが 2200 以上と言っているので、
0:28:42	今の御社の説明だと、検討の②しか存在し得ないと思うんですけど。
0:28:48	①はどういう
0:28:50	やり方なんですか。
0:28:52	それに対して、ちゃんと今理屈がないんですけども。
0:29:56	JA建設部のナカニシですか、検討を
0:30:01	1 については、基本的にはVs2 件 200 メーター/s以上の方であるという認識で、この地盤物性の物性の違いってものを考慮して検討した場合っていうのが検討
0:30:16	オオウチになって、検討 2 というのは、シンプルに 2500 というのにて 200 人ええよみたいな整理をしていると、そういう整理になります。
0:31:50	規制庁ですけれど、こちらちょっと確認数はちょっと時間をください。
0:31:58	了解いたしました。
0:33:19	。
0:33:26	あのね、規制庁佐藤ですけども。
0:33:28	ちょっと我々頭の中で、結構混乱してるんですけども、検討 1 検討についてというのはそもそも何をしたいんですかっていう何をしたかったんですかっていうところで今意味し、一生懸命みんなで解釈してんですけど。
0:33:42	解が出ない、多分こうだろうっていうのはあるんだけど。
0:33:45	でね、そもそも検討についてというのはこれ 2200 じゃなくて、1 も 2 もなく、2500 にしてやらないといけないんじゃないんですかっていう

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:54	話なんですけど。
0:33:56	まずなぜ 2200 にこれしてるんですか。2500 で考えないといけないんじゃないかと我々の指摘は前回の 9 月 3 日の審査会合の指摘は、そういう指摘をしてるわけね。
0:34:10	なんでこれ 2200 にわざわざこれハーして考えてるんですかって言うねそこがちょっと私は理解できないでさっき何回も言ったように 2200 メーター/s 一応なんだから、
0:34:22	以上なんだから、
0:34:24	2200 に固執する必要は全然ないし、
0:34:29	と思っているんですけど、その理解をちょっと教えて欲しいんですけどね。
0:35:01	結局ナカニシですが、
0:35:05	まず 2200 というところのは標準応答スペクトルを策定される際 2000 よりも 2200 円も軟らかい観測記録も整理をされていってやらかい物については大変そうなの。
0:35:20	VSも差分による補正をかけて 2200 メーター/s のスペック取れを定義されていて 2200 億以上で関連。
0:35:32	〇行くような販促記録についてはの有意な増加はないということで整理されているかなと解釈しております、2200 メーター/s で、基本的にまとめられているスペクトルという認識で 2100 に対して検討 1 れば、
0:35:51	留萌の時にもやらせていただいたような形でインピーダンスの補正をかけているという話と検討につきましては、2200 に読みかえてやっているというところになります。
0:36:06	今後お笑いの項も同じように検討していくことになるかと思いますが、ここがない場合はいけならバックエンドのときにも少しちょっと口頭でお話しさせていただいたんですが、既許可のモデルウィーク 2086 メーターか接という層があって、
0:36:23	その下に 600m ぐらい下のところに Vs は完全に 52 メーター/s という方法がございまして、結構コントラスト深さも大きいということもありまして、それに対しても、
0:36:39	やはり Vs 数を何かしら検討考慮して評価をしたいというところが出資っていうこと。
0:36:48	今回に関してはそう言いたいことがわからないんですけども、結局、留萌の場合はですね、旧高津メーター/sec である辺りに対して決まってるから保温本検討位置に近いやり方が誠実性ですよ。
0:37:03	今回のものに関しては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:05	2200 メーター/sec以上と、検討チームの検討がどうだった疲労対策でそう決めてるんですよ。
0:37:14	標準応答スペクトルの定義なんですよ。
0:37:17	検討チームの検討がどうだったかとはいえ、
0:37:20	定義がまず曲げないでいただきたいんですよ。でその定義をどのように考えてどういうふうにするかというのは御社の考え方によるかもしれないんですけど。
0:37:29	今まず
0:37:31	御社にとってことは定義を曲げてますよね。
0:37:35	2200 名と/sec以上というのを 2200 メーター/かといってますよね。
0:37:41	そこはしっかりと御社の考えを持って、必要であれば説明をしてください。
0:37:48	その考え方を確認した上で介護で議論したようで今こういうふうの確認をしているんです。
0:37:53	いかがですか。
0:38:18	規制庁佐藤です。ちょっと補足します。
0:38:21	多分ね、多分今
0:38:23	幾ら聞いても多分回答が返ってこない可能性があるんで、
0:38:28	もう 1 回資料でちゃんと御社の考え方をここに書いて欲しいんですよ。それをもう 1 回ヒアリングで聞いたほうがいいのではないですかね、多分、今我々こう推測しています。多分こうだろうと思って内輪では、
0:38:43	だけどそれは我々の推測であって、ちょっとやっぱり御社と思って考えたことがちょっとね/まだ理解できてないというのが実情なんですね。
0:38:53	なので、
0:38:54	これはちゃんともう 1 回次とヒアリングでもう少し御社の考え方をこの資料に反映してこう考えたからこうしたんですっていうのも少し書いていただく必要があらうかと思っています。
0:39:07	よろしいですかちょっとその点そうしないとちょっと今日はもう少し確認事項に差があるので、先に進まないの時間を無駄なので、
0:39:16	そのようにさせていただきたいんですが、よろしいですか。
0:39:21	はい。
0:39:22	県営建設部ナカニシあその了解いたしました。
0:41:20	規制庁の大井です。ちょっと検討①で最後少し一つ確認ですが、
0:41:27	ですね。
0:41:29	9 ページをお願いいたします。
0:41:31	御社ですね検討①等の透過係数を用いた検討ということで、
0:41:37	一番下に書かれておりますがとか計装とか乗じて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:41	水平方向の、これなんです。
0:41:44	最大の
0:41:46	波速度、
0:41:48	とかを小さくして全体的に小さくして入力されているということを
0:41:55	読み取れるんですね、もしもこれをですね数同時なかった場合の検討っていうのは、
0:42:02	そちらで確認はされてるんでしょうか。
0:42:21	JA建設部ナカニシでございます。
0:42:26	／Vsを2件500メートル/sとして直接入力するというLAN水素の研究はしてございます。
0:42:38	それについても今検討よりも、もう少し大きくはなりますが
0:42:44	包絡しているような、ちょっと今、
0:42:49	音声が少し
0:42:52	入れてしまう。
0:42:54	どうぞ。すみません。
0:43:00	そうかという建設部の中西です。
0:43:05	2500メートル/sとして乱数位相の検討した結果というのも今回2200ウーと合わせてやって実施しております若干とインピーダンスの分だけ大きくはなりますが、
0:43:22	既存の基準地震動Ssには崩落していることは確認してございます。
0:43:33	その欠陥があるのであれば、少し確認したいんだというふうな
0:43:42	包絡されてるんであればですね。
0:43:45	そういう
0:43:48	考えなんですけど。
0:43:51	はい。そちらのほうはわかりました。
0:43:57	うん。
0:44:02	すみません、規制庁のナガイですけども、2500でやった結果があるのであれば、それは出していただくことは可能ですか。
0:44:36	JA建設部ナカニシですが、厳格について別に1200500を入れると検討した結果でのございますので、
0:44:47	出すのは可能というのがございますが、こちらで聞いてそちらで大洗のほうもVSとの関連も上になりますので、Vmのコントラストがさらに大きくなるというのちょっとこちら、
0:45:04	考え方の整理っていうのを
0:45:07	解いて今やって

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:10	検討してきているという状況です。
0:45:17	すみません、規制庁のイワタですけれども、まず二つのパターンがあって今回そのJRRⅢについては許可ありませんよっていうそういうし中身ですよ。
0:45:28	一方常陽はまだ申請中ですね 1kmも一応許可終わってますと、それはもういい考えた上でというお話ではあるものの、まずはそのJRRスピード考えてるんですかということで一番については①についてはやはり先ほどから申しているように、
0:45:44	物性の違い云々かんぬんというおっしゃりますが、そこは素直にどういうものが出てくるのかというのを見せていただいた上で判断するということになると思うので、②のようにですね、2500 なんだけど 2200 ですと言って参るといのも何かやっぱり変だし、そこは
0:46:02	決まっている地盤モデルを使って、そのまま評価をした結果がどうなんですかというのをまず見せてもらうのが筋なんではないですかね。
0:46:20	JA建設部ナカニシでいただいたコメントの趣旨踏まえて次回のヒアリングで
0:46:30	資料を策定したいと思います。
0:46:39	はい。規制庁の岩田です。わかりました次回のヒアリングでということなんですが一応念のため確認をしていくと、①と②のやり方っていうのは残すおつもりでいらっしゃる。
0:46:50	残すつもり残す前提で、どうしてこんなことやるんですかという説明を加えていくのか、先ほどオオイからもコメントがあったように、いや 2500 に直接入れた結果を持って説明をするのか、そこは方針をまだ決めてないですか、それとも原決まっていますか。
0:47:24	JA建設部の中西でございます。
0:47:26	ちょっと他の基礎一等との絡みのお笑いとの絡みがございまして、ちょっと検討させていただいて回答させていただければと思います。
0:47:38	はい、わかりましたじゃあの方針を決めてですね、資料のほうを作っていたら再度ヒアリングさせていただくことにしたいと思います。
0:47:54	はい。日規制庁のオオイですが、引き続きですね実移送による検討についてもう少し
0:48:03	ちょっと質問させていただきたいんですが、
0:48:06	14 ページ。
0:48:09	ね。
0:48:10	まずまずというか一つなんです私からは、地震観測記録を近傍
0:48:18	の
0:48:20	記録から抽出したということですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:24	信用距離が 30km以内ということで、
0:48:29	図にあるですね、JRR筋からの
0:48:34	所 30km以内っていうのは、そのまま
0:48:38	あそこからの地震の
0:48:43	じゃろⅢの観測の記録を使って、
0:48:51	はけを作ったということですがちょ 30 キロっていうのは、
0:48:54	少し素人的に考えていなかったとオオイかなという気はするんですが、その辺は はどういうお考え。
0:49:03	何でしょうか。
0:49:11	建設部ナカニシ費でございます。
0:49:14	今回震源特定せずというところで考えますと乱数表のときもそうですが距離で いいと例えばの等価震源距離で 10 キロとか、そういうレベルになると思うん ですが、今回観測記録整理をしてしていく中で、
0:49:30	やはりそういうかのなかなか近傍で内陸地殻内で取れてるというものがござい ませんので、少し距離を広げたとそのときには症状とスペクトルの整理のとき に炉心を距離 30kmのマグニチュードを. 0 から 6.6ー
0:49:47	地震を対象とされているので、そういうところもちょっと考慮に入れまして、少し 震央距離の範囲を広げて
0:50:00	評価評価に用いているというところになります。
0:50:06	近くにそういう力がないということの理由だということですね、これはコリウム距 離のほかとかはされてない。
0:50:22	はい。
0:50:47	自民建設部ナカニシですが、先ほどのコメントちょっと音声聞こえづらかった ので、もう一度お願いします。
0:50:55	失礼しました。規制庁の大井です。
0:51:00	前近傍に 10kmとかそういう近傍には地震記録がないということからという理 由はわかりましたが、
0:51:10	震源距離の補正、
0:51:12	また目に
0:51:17	距離の補正はされてないのかっていうこと。
0:51:20	された際、
0:51:22	それとは言えないんですか。
0:51:32	JA献血もナカニシの距離の補正というのは特に知っていなくて取れている観 測記録をそのまま使っても聞いてございます。
0:51:46	はい、了解しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:51	すいませんナガイですけれども、今のオオイの確認事項をちょっと補足すると。
0:51:58	国庫そもそも特定せずの
0:52:01	全国共通のものを考え先がそもそも機器とか施設近傍で活断層が見受けられる内容の場合の地震でっていうことを考えていく中で、
0:52:12	30kmというデータはちょっと効果ありませんかと。
0:52:16	というのが一つとサトウ。
0:52:19	今回の標準応答スペクトルのはけを作るにあたっては、サイトの特性をうまく表現できるものがないのかと。
0:52:26	いうところで、敷地の観測記録を使ったほうがいいという二つの兼ね合いがある中で、
0:52:33	この 39 記録をそのまま使うことというのが、ここの考え方に
0:52:39	楽器するものがいなかったというところで聞いているところでございますが、そのあたり、どのようにお考えですか、ちょっと 39 という遠いので機能伝播特性以外のことも入ってしまう。
0:52:50	本来、震源近傍で見られるべき。
0:52:54	波というのが見えてない可能性もあるんですけども、そういうところをどう考えてるかというところですけども、
0:53:42	経営建設部ナカニシ施設が今取れている記録で整理を纯粹にしたっていうのが
0:53:53	今回の検討でして、なかなか距離補正するというのも
0:53:59	もし難しい観測記録補正するっていうのは難しいところもあって、まずじゃうちとしては内陸地殻内の地震を今回震源特定せずですので、日使いたいというところでの距離のほうは多少遠くなくても
0:54:17	そういう記録を整備にかかったっていうのが検討でして、なかなかの近くで記録がとれてるものっていうのが難しいので、
0:54:29	内陸地殻内というのを重視してやるべきかなというところで整理しております。
0:54:36	はい。
0:54:46	すいません私サトウから一つだけ、一番最後の 23 ページなんですけどね、この模擬地震はさっきいじりましたっていう話伺って参考に何で維持したかって説明があるんですけどね。
0:55:02	これ、その音スペクトル比を改善適合度向上するためにやったと言え、なんていうか、聞こえはいいんですけども、もう少しうがった見方をするという見方もあるわけね。
0:55:17	これなんでここだけ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:20	今回その適合御努力しようと思ったんですか。であれば最初から前回の時からちゃんとやって合うように、すればよかったんじゃないですかねっていう疑問が私にはわくんですよねしかもこの
0:55:34	短周期側だけ。
0:55:36	いじるという。
0:55:37	ちょっと穿ったみたいな見方をすると少し作為を感じるんですけど。
0:55:43	ここの理由は何かありますか、これ以外に、
0:56:18	規制庁測定器を書いていること以上のことがなければそれで結構ですけど。
0:56:27	JA建設部のナカニシですが、23 ページの資料にも書いてある通りチケットの耐震評価に影響する短周期側っていうのにあまりこの
0:56:39	リングというところはあまり着目しなかったということもあって、今回後工程の評価も踏まえて短周期側をもう少し精度を上げてフィッティングしたということになります。
0:56:58	そうしたら書いてること以上のことはないってことですね。わかりました。
0:57:11	規制庁ナガイですけども、先ほどサトウから転換して前回の
0:57:16	資料と比較してですね、こちらがちょっと伺ってたことが実際そうではないんだなっていうのはわかったんですけども。
0:57:26	まず、前回、この短周期側が大きいめの。
0:57:30	模擬地震派での解析結果によると、
0:57:33	ぜひ基盤相当面の模擬地震後、
0:57:37	解放基盤表面での模擬地震派手最大居宅ポイントってのは、ずれてたと。
0:57:42	いうのが明瞭にあって、そうするともう一つは地盤で何か増幅特性があるのかなと思っていましたんですけども、今回の結果を見るとそうだってほぼほぼ同じ場所が高いっているので、そういう意味では地盤変な特性があったわけで重んじ品管特性のことでそう見えたのかなというふうに回り回避
0:58:02	というのは7 ページですね、12 ページを
0:58:05	比較していただければと思うんですけども。
0:58:08	ほぼ同じ場所が最大
0:58:11	の加速度をたたいているっていうのを、が見えるので、そういう意味では、津波は計が上がってるといふふうに今は判断しています。
0:58:20	もう1 点は、これ設置変更許可だった仮開口
0:58:25	詳しく説明してもらいたいところなんですけれども、今回扶養文章ということで確認の程度で、
0:58:31	済ませたいと思うんですけども。
0:58:34	その当該資料は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:37	今日の資料ではないんですけども。
0:58:40	はい。
0:58:41	ページ。
0:58:48	議長。
0:58:52	ちょっと数字がわかるのがここにしかないかなと思うんです。9 ページ 10 ページどちらでもいいんですけども。
0:58:59	サー速度で 1500 から
0:59:02	2500 にかけての想定非常に薄いですね。
0:59:07	これもと足すと微動アレイの結果によってと思うんですけど。
0:59:12	この薄くて、この辺りのある恵山速度ってどれから診療度があるんですが、信頼費用とか信頼度があるんですかね。
0:59:21	ある程度ぶれちゃうものなのかそれとも
0:59:24	ある意味決めの辺りなのか。
0:59:27	というのはどういうふうに評価されてるんですか。
0:59:57	提言建設部ナカニシですが、こちらの今のおっしゃられた通り基本評価、既往のキャパでいろいろあれ等に基づいてひっ近活て決めているというところでの結果は
1:00:13	このVsの 1500 から 2500 の層がこういうような経営層厚と食堂で整理して一つ決めているというところにあります。
1:00:34	これ最後にしますけども、これ母子多少速度いじったとして、
1:00:39	元になった微動アレイのデータって説明ができなくなるのかならないのかっていうと、どちらかに委託で答えていただきたいんですけども。
1:00:51	ちょっと気になるまで、
1:00:57	うん。
1:00:58	代わりに
1:01:04	うん。
1:01:08	目次
1:01:14	それじゃ、
1:01:20	これが
1:01:24	議論の記録から整理をしていますが
1:01:29	基本的には変わらないと思っておりますが、
1:01:34	その確認をJPと本当にそう。
1:01:40	いただければと思います。
1:01:45	はい。
1:01:48	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:51	ナガイの扶養文章と御説明側でどこまでやるかおまかせしますけれども、簡単にどちらか
1:02:00	決めの問題で多分漏れが作ってると思うんですけども、その十分信頼足るあたりでこれは確実にこういう走向がありますというものが、それでも少し二つ可能性があるようなものは7日程度でいいです。私からは以上です。
1:02:17	はい。
1:02:19	原子力本設のですが、多分、
1:02:23	そのモデルのところ、今ナガイさんがおっしゃっていただいております程度モデル。
1:02:27	決め打ちで日緑フィッティングする形でやっていますので前回の会合で見直したモデルを示しますしましたか、それでも微動アレイ2がその
1:02:42	何点微動アレイの解釈が困りのことはないというそんなモデルになってます。
1:02:52	はい、わかりました。
1:03:02	はい、大体確認したいことが出たようなのですいませんイワタですが最後に私から何点か印象というかですねそもそもこの制度自体はですね、震源を特定せず策定する地震動などで、まあ、正直あんまりその精緻にね、何か物事を決めるというよりは、
1:03:18	大体こんなもんですよというものをスペクトルと示して、
1:03:22	従ってこの2200以上というのは割と大ざっぱな言い方したらちょっと失礼かもしれないけれども、そういうところで評価をして基準地震動を超えるんですか超えないんですか。なので
1:03:33	まずは正攻法としてはですよ。前回の会合でも言いましたけれども、既存の許可の範囲で説明している2500に入れてじゃあどうなんですか超えるんですか超えないんですかというのはね、まずは見方としてはあるんじゃないかと思うんですよ。その上で申し上げますと、今回①とか②のようなですね細かな評価をやってきた。
1:03:53	ことについては、それ自身は本当にそのちゃんと評価をして欲しいんだと本来は許可で見るべきような話ですよ。
1:04:00	先ほど申したように、今回は参りませんっていう説明を進歩したいと、一方ですでに許可をまだ審査中のところもあるわけで、ちょっとね全く同じアプローチである必要はないと思うんですよ。そういうことも踏まえた上ですよ、
1:04:16	ぜひ考えていただいた上で、懇次回ですねヒアリングの資料を作っていただきたいと思います。よろしく願いいたします。
1:04:29	JA建設部の中西です。了解いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:36	うちの方からはもう特にはないと思いますけどJAから何かあればですね確認したいこととかあれば、
1:04:43	お伺いしますが、
1:04:47	よろしいですか。
1:04:50	JA特にございません。はい。はい、はい。
1:04:54	はい、じゃあほんじゃ本日のヒアリング以上にしたいと思いますお疲れ様でした。
1:05:02	ありがとうございました。
1:05:04	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。